



平成 25 年度 中国ブロッククラブネットワークアクション 2013

開 催 報 告

日時： [1 日目] 平成 25 年 10 月 26 日（土） 12：45～17：00
[2 日目] 平成 25 年 10 月 27 日（日） 9：00～12：00

会場： 島根県民会館（島根県松江市）

内容：

[1 日目]

■開会行事

■基調講演 「元気な地域づくり」

講師：豊重 哲郎 氏（鹿児島県やねだん地区公民館 館長）

■事例発表 「事業で生み出したお金を地域の発展にどう生かすか」

発表者：角 幸治 氏（株式会社玉造温泉まちデコ 代表取締役）

■パネルディスカッション

コーディネーター：松本 武彦（SC 全国ネットワーク岡山県代表委員）

パネリスト：豊重 哲郎 氏（前掲）、角 幸治 氏（前掲）、

米谷 正造 氏（中国ブロック実行委員会副委員長、

川崎医療福祉大学 教授）

[2 日目]

■グループ討議 「総合型地域スポーツクラブが持つ可能性」

コーディネーター：SC 全国ネットワーク中国ブロック代表委員、クラブアドバイザー

■グループ討議発表

発表者：各グループ代表者

■閉会行事

【概要】

今回の中国ブロッククラブネットワークアクションは「地域コミュニティの活性化」並びに「総合型地域スポーツクラブが持つ可能性」の2つをテーマに開催しました。「地域コミュニティの活性化」をテーマにした1日目では、基調講演と事例発表を行い、その後、パネルディスカッションを実施しました。

2日目は7人のグループを7つ作り、「総合型地域スポーツクラブが持つ可能性」についてグループ討議を行いました。各グループを人口1万人の地区に存在する1つの総合型地域スポーツクラブにみたてて、総合型クラブが「できる」「やりたい」「やってみたい」という様々な事業やイベントについて討議をしました。

【討議内容】

【1日目】

【基調講演】

「元気な地域づくり」と題し、鹿児島県鹿屋市の南部に位置する柳谷集落（通称やねだん）の地域再生において、中心的な存在として現在も関わられている豊重哲郎氏に講演いただきました。



【事例発表】



「事業で生み出したお金を地域の発展にどう生かすか」というテーマについて、地元の玉造温泉で活動をしている角幸治氏に事例発表をいただきました。角氏には、玉造温泉の再生にあたり、事業でお金を生み出している具体的な方法やその生み出し方をお話しいただきました。

【パネルディスカッション】

「地域コミュニティの活性化」というテーマについて、講師の豊重哲郎氏、事例発表者の角幸治氏に加え、学識経験者の米谷副委員長をパネリストとして迎え、松本実行委員のコーディネートのもとパネルディスカッションが行われました。



【2日目】

【グループ討議・発表】

「総合型地域スポーツクラブが持つ可能性」というテーマについてグループごとに討議しました。

当日、くじ引きで7グループに班編成を行い、コーディネーターもくじで、グループに配置しました。グループ討議の前から遊び心を取り入れ、今までとは違ったスタートとなりました。

どのグループも、夢を形にしていくという設定で、かなりハードルの高いものから、もしかしたら出来るのではないかという、イベント事業が多数発表されました。中には本当に実践できそうな事業もあり参加クラブには大変有意義なグループ討議がなされたと思います。



<グループ討議の様子>



<グループ討議の内容発表の様子>

【まとめ】

基調講演及び事例発表では、お金をどのように生み出すかを考えることができる内容でした。ヒントはふとしたところにあり、視点を変えれば、ビジネスチャンスにつながり、地域住民とのつながりも強くすることができることを改めて感じる事が出来たと思います。グループ討議では、真剣な眼差しとともに、楽しそうな笑い声も聞こえ、総合型クラブの運営に携わる方々のエネルギーを感じることができました。最後に各グループで討議した内容を発表しましたが、各グループとも事業にユーモアがあり、総合型地域スポーツクラブが持つ可能性を再確認することができました。

豊重氏並びに角氏は、地域を愛し、その地域が好きだから何とかしたいという思いで我慢強くチャレンジをされ、地域再編に成功されました。最後に総合型地域スポーツクラブの運営に携わる皆さんも自分のクラブを愛し、自分のクラブを好きになり、そして、クラブの発展、繁栄のために行動を起こしてくださることを主催者一同祈念し、まとめとします。

中国ブロッククラブネットワークアクション 2013

実行委員長 関口 昌和